

支援事例

商工会名	熊本市託麻商工会	氏名	樺島 大輔	情報開示の可否	可
支援テーマ	農商工連携・6次産業	題名	酪農法人による飲食業界への参入		
	販路拡大・販路支援				

<支援企業の概要>

事業所名	株式会社ナチュ・ラテ	従業員	2人	創業/会社設立	創業日	2016年11月1日
業種	酪農業	うち家族従業員	2人		業歴	8年4ヶ月

○企業概要

1970年に熊本市戸島町にて酪農業を創業し、2016年に法人化。
 主に、九州乳販連との委託契約での生乳販売、子牛販売を行っており、現在では、12ヘクタールの敷地において、搾乳牛約50頭、育成牛約30頭を飼育している。
 事業所が所在する地域は、従来より畜産、農業が盛んな地域であるが、昭和52年には2,361戸あった農家戸数が、令和3年においては446戸と大きく減少している。
 また、近年では、周辺地域の宅地化が進み、飼料の臭気等、近隣住民への配慮、対応も求められている。
 加えて、ウクライナ情勢、コロナ禍の影響による円安から輸入飼料価格が高騰するなど、かつて無い程の厳しい事業環境となっているが、経営資源を有効に活用した積極的な取り組みによる事業維持、拡大を図っている事業所である。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

これまで、酪農業における生乳生産を行ってきたが、経営環境、社会情勢の大きな変遷の中、乳価の据え置きなど、事業の維持拡大の可能性に不安を感じ、営業分野への進出を図るも、ノウハウ不足から熊本県よろず支援拠点へ相談。よろず支援拠点による一次対応の後、管内支援機関である商工会への紹介があり、以降、商工会による支援を開始する。

【支援課題・支援計画】

(支援課題) 一般消費者をターゲットとした飲食店経営ノウハウの不足、営業的思考への転換、多額の設備投資

(短期計画) 酪農を活かした飲食店営業における実効性の高い事業計画の策定、営業環境の整備を目的とした事業再構築補助金の活用

(中長期計画) 店舗のオープン、メニュー開発、広報活動、当初計画のPDCA測定・管理

(現状分析)

- ・強み→飲食店メニューの主原料である牛乳は、自社一貫生産の生乳を使用し、品質、保管、衛生面において他社よりも有利な環境が整っている。安心安全な搾りたて生乳を使用することができる。また、交通量の多い道路に面した活用できる土地を有している。
- ・弱み→酪農について、九州乳販連との委託契約による生乳の取引のため価格に決定権が無く、値上げなどの対応が独自の判断でできない。また、臭気の問題から、業容拡大が困難な環境である。
- ・機会→近隣の宅地化が進み、一般消費者の流入が多い。
- ・脅威→酪農における主な原材料としての飼料の高騰（原価高騰）、全国的に見ても熊本県内の飲食店数が多く競合が激しい

○支援内容および支援後の状況・効果

自社生産の生乳を活用したワッフルとジェラートを提供する飲食店「バターミルク工房」をオープンするにあたり、事業再構築補助金の申請から精算処理における支援を実施。これにより店舗を建設し、令和5年8月から営業を開始。当初は知人、近隣住民が主な客層であったが、SNS、チラシの配布等、地道な広報活動により、着実に来店客を増やしている。同時に熊本県商工会連合会の専門家派遣制度を活用し、さらなる販路拡大策の検討、顧客管理、財務管理による現状把握など、経営スキル向上に向けた支援を実施。また、当初計画の見直し、PDCA管理に基づく商品ブラッシュアップ支援を行っている。

○今後について（目標や課題など）

広報活動としてのLPの制作、補助事業の活用、需要が増えつつある発送及び持ち帰り商品の開発、EC参入及び販売ノウハウの構築についての支援を実施する。足元の店舗経営の安定、確立を目指し、同時に商圏拡大を図るために支援を行い、会社全体における経営の安定化を目指す。